

はちまんたい議会だより

ギカイのひろは

No. **75**
2024年(令和6年)
5月9日



スプリング コンサート

— 田山保育所 —

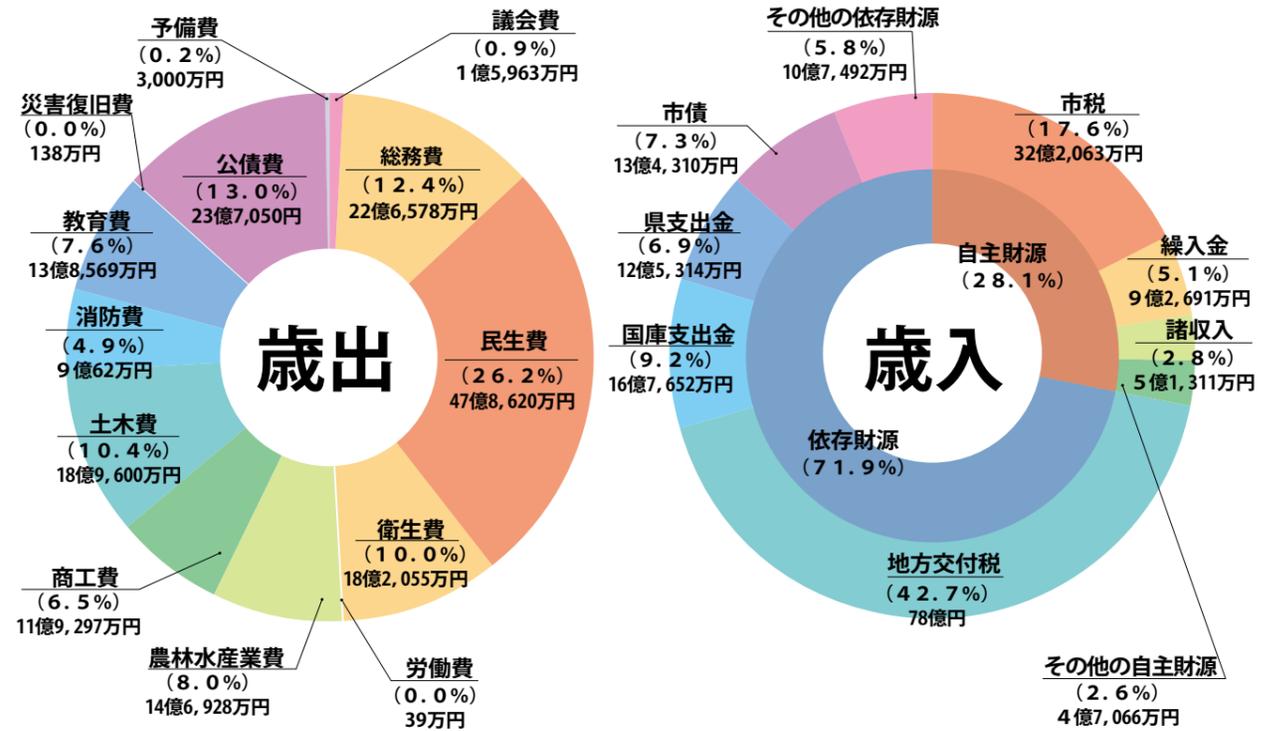
主な内容

- 6年度予算…………… P 2
- 3月定例会…………… P 7
- 一般質問…………… P 10

6年度 予算

一般会計予算額は 182億7,900万円

— 前年度比1億2,000万円(0.7%)減 —



※ 構成比と金額は、各項目を四捨五入していますので、合計は必ずしも一致しません。

予算特別委員会での主な質疑

Q 自治公民館の補修工事は、2分の1の補助となっているが、寺田地区では、自主防災組織の一時自主避難所となっているため、一括交付金の対象とならないか。

A 自治公民館の位置付けは、地域住民の自主運営であり、施設管理や運営費も住民が行うこととされている。地域住民の協働事業ではない補修工事については、自治会活動費補助金や自治集会所建設工事費補助金を活用してほしい。

Q 旧安代老人憩の家の解体工事に伴い、付帯施設である屋内ゲートボール場も取り壊されるようだが、愛好者から「説明が足りない」「まだ使用したい」との声があるが、どのように捉えているのか。

A 請願は2回とも不採択となり、住民監査請求も却下されている。一回目の請願提出時は、市長面談を行い、ゲートボール協会からの理解が得られたと認識している。また、この件に関しては担当課から何度も丁寧に説明をしている。予算が成立したら解体したいと考えている。

Q マイナンバーカードの交付率と市立病院でのマイナ保険証の利用状況は。

A 市の交付率は74.6%となっている。市立病院のマイナ保険証については、1日10件程度利用されている。移住コーディネーターの業務内容について伺う。

予算特別委員会での主な質疑

Q 当市では、過疎債が市債の中心になっているが、ソフト事業への充当は。対象事業は、医療費の助成、安代地区コミュニティバス運行、出産・子育て応援給付金などの事業に充当する。

A 生活保護を受けている方の住宅使用料の未納対応について伺う。住宅使用料については、生活保護費から直接支払う手続きを取っている。受給前の未納分は、不納欠損処分を行わず、滞納として残っている。

Q 全国的に空き家が社会問題化しているが、当市の空き家の現状と今後の取り組みは。市内には現在、約1200棟の空き家があり、特定空き家の候補は350棟ほどと見込んでいる。6年度は松尾地区の特定空き家1棟を補助金などを活用し、解体予定である。7年度は所有者などに向けてアンケートで状況調査を行い、実態を把握したいと考えている。

A LINEで発信しているが、登録数を増やすことはもとより、幅広い年齢層に向けた情報発信力の強化が必要では。LINE登録者数は、2316人で前年より約440人増加している。市政モニターアンケートでは市ホームページと同程度LINEを見ていると回答があった。今後、より一層の情報発信に努めたい。

A 移住相談や移住後のフォローアップ、空き家・宅地バンクなどのコーディネーターなど、包括的・専門的に実施していただく予定である。

Q 市の公共施設の支障木の処理はどのように行われているのか。

A 支障木調査は、市職員の見回りと市民からの情報提供によって対応している。6年度に関しては、八坂神社の支障木処理の予算を計上している。

Q 荒屋新町と田山間のコミュニティバスの運行がなく、不便を強いられている。今後の対応を伺う。

A 荒屋新町と田山間の基幹交通として花輪線と幹線バスがある。幹線バスは、兄畑から市立病院まで週2便を運行しており、これにコミュニティバスが接続している。田山地区では、デマンド方式や花輪線を利用していただきたい。

Q コミュニティバスの利用者は、全体的には少ないと感じている。一方で大更地区では、市立病院などへの利用者が多いため、集中的に利用者の多い地区だけ運行を増やすことは可能か。

A コミュニティバスについては、岩手県北自動車株式会社に委託しているが、運転手の不足が深刻となっている。6年4月からは、運送業の時間外労働が規制され、さらに厳しい状況になる。専門的な意見も踏まえ、利用者の実態を再度検討し、利便性を高めていきたい。



コミュニティバスの標識

コミュニティバス運行事業

【予算額】 1億1,245万円

【事業内容】 通院や外出の交通手段を確保するために、コミュニティバスを運行する。



LINEによる情報発信

広報活動事業

【予算額】 1,259万円

【事業内容】 市政情報や市民活動について発信し、行政と市民の間で情報を共有する。



令和5年度に解体した空き家

空家等対策事業

【予算額】 1,336万円

【事業内容】 空家等対策協議会にて、特定空き屋などに対する措置および対策をする。

予算特別委員会での主な質疑

Q 敬老事業については、対象者全員の参加を目指すことが必要であり、市で案内状などを送付し、開催を知らせることが必要ではないか。また、令和5年度の参加率についても伺う。

A 補助事業であるため、市からの案内ではなく、地域振興協議会や自治会から案内している。また、5年度の参加率はおよそ70・6%である。

Q 第9期の介護保険事業計画が決定され、1号被保険者の保険料が月87円引き上げになった。引き上げは、回避できなかったのか伺う。

A 現状維持の場合には、約3億5000万円円の基金の取り崩しが必要となる。この先続く10期、11期を見通し、計画を策定した。ご理解いただきたい。

Q 高齢者は増えているが、老人クラブの会員数は減少している。老人クラブの活動が活発になれば、健康を維持することができ、医療費や介護費は少なくなると考える。今後、老人クラブへの加入、育成をどう進めるのか。

A 全国的な課題であり、解決策がない。老人クラブ活動やサロン活動については、市職員も地域に向いて活動し、地域を元気にしていきたい。また、市ではシルバリーハビリティ体操を勧めているため、通いの場を設置していきたい。

Q 带状疱疹ワクチンの接種補助は考えているのか伺う。

A 市としては、予防接種法の定期接種に位置付けられるように国に要望していく。塵芥処理事業の予算額は1億5560万円となっている。ごみの減量や分別・資源化で節税になると考えるが、ごみの減量への取り組みについて伺う。

Q ごみの発生や排出抑制を基本に、ごみの焼却や埋め立てごみを可能な限り減量するため施策を展開していく。具体的には、プラスチックの分別について取り組みが必須である。事業者や市民団体との協働を進め、減量を進めたいと考えている。当市のまち・ひと・しごと創生総合戦略の6年度の出生数の目標値は、113人である。出生数の減少は大変な課題と考えるが見解を伺う。

A 出生数は2年87人、3年98人、4年93人、5年72人と推移している。コロナ禍で結婚組数が大幅に減少したことも影響し、出生数の減につながった。国や県と連携して結婚組数の減少に歯止めをかけることが必要だと考えている。

Q 若い世代の転出を防ぐための具体的な施策や人口ビジョンの計画を実現するため、どのようなことを行ったか。

A 子育て支援策の強化、高校生までの医療費の無償化や所得制限撤廃など、近隣市に先駆けて実施した。状況を勘案し、次の総合戦略の策定に取り組んでいく。

予算特別委員会での主な質疑

Q 八幡平市繁殖育成センターは、令和4年9月に開所したが、利用頭数の計画値が616頭と昨年度の計画と同数である。指定管理者であるJAや各関係機関との協議が必要だと思いが、現状と今後の取り組みについて伺う。

A 6年2月1日時点の利用頭数は261頭と計画値の半分程度の状況である。現在の経済状況から、この状況が続くと考えている。運営上でも赤字であると聞いている。少しでも赤字が改善できるように市としてもJAを支援していきたい。

Q 新規就農者支援事業について、親元就農支援の具体的な内容は。

A 新規事業として親元就農した場合に50万円を支援する事業で、5人分の250万円を計上している。なお、親が認定農業者であるかは問わない予定である。

Q 地域農業計画実践支援事業について、地域計画の見解を伺う。

A 国のマニュアルでは、理想的な将来の地図は出ているが、実際にできるまでは時間がかかる。市としても問題意識は持っており、地域との話し合いや農業委員会との協議も含めて対応していきたい。

Q 商工業金融対策事業の中には、市内3つの金融機関に預託金1億2000万円を預託し、12億円の融資枠を確保するところだが、内容について伺う。

Q 帯状疱疹ワクチンの接種補助は考えているのか伺う。

A 市としては、予防接種法の定期接種に位置付けられるように国に要望していく。塵芥処理事業の予算額は1億5560万円となっている。ごみの減量や分別・資源化で節税になると考えるが、ごみの減量への取り組みについて伺う。

Q ごみの発生や排出抑制を基本に、ごみの焼却や埋め立てごみを可能な限り減量するため施策を展開していく。具体的には、プラスチックの分別について取り組みが必須である。事業者や市民団体との協働を進め、減量を進めたいと考えている。当市のまち・ひと・しごと創生総合戦略の6年度の出生数の目標値は、113人である。出生数の減少は大変な課題と考えるが見解を伺う。

Q 若い世代の転出を防ぐための具体的な施策や人口ビジョンの計画を実現するため、どのようなことを行ったか。

A 市内3つの金融機関に対して10倍の融資補償を行っていたと預託金である。新型コロナウイルス感染症対策資金利子補給補助金とは別の融資制度である。借受先からの組み替えや期間の延長などは、状況に応じて対応していただきたい。

Q 大更駅前拠点施設整備事業における、商業用地10区画の現在の状況は。

A 4月からの公募開始を目指し、準備している状況である。市内の事業者を優先に飲食店業者およびサービス業者への分譲を開始した。実際の大更駅前顔づくり施設の建設状況と合わせながら、10区画全てを成約する計画としている。

Q 起業支援プロジェクト事業について、メディアテックバレーコンソーシアムにおける遠隔診療とドローンによる薬品類の運送事業の進捗について伺う。

A 遠隔診療については、市立病院統括管理者である望月医師と引き続き協議していく。ドローンの活用については、さまざまな規制があり、ハードルが高いが、地方創生推進交付金の申請も含めて実証実験を図れるよう引き続き取り組んでいく。サテライトオフィス誘致基盤構築事業委託料の内容は。

A テレビ東京ダイレクト社との連携協定の中で、テレビ東京を通じて首都圏企業の2拠点化、もしくはサテライトオフィス誘致事業をデジタル田園都市国家構想交付金の申請も含めて、精査していきたい。



大更駅前区画

大更駅前拠点施設整備事業

【予算額】 5億973万円

【事業内容】 大更駅前顔づくり施設を中心に商業・文化エリアの構築と関係人口の拠点としてのにぎわいを創出する。



市内金融機関

商工業金融対策事業

【予算額】 1億9,820万円

【事業内容】 市内の中小企業の安定経営と新規事業への取組みを市内金融機関と協力し支援する。



八幡平市繁殖育成センター

畜産施設管理事業

【予算額】 6,614万円

【事業内容】 畜産農家から子牛を受け入れ分娩や哺育、育成管理を行い農家の労力軽減と規模拡大を支援する。



乳幼児健診での問診の様子

母子保健事業

【予算額】 5,896万円

【事業内容】 妊娠期から子育て家庭に寄り添い、安心して出産および子育てができるように各事業を実施する。



八幡平市清掃センター

じんかい
塵芥処理事業

【予算額】 1億5,560万円

【事業内容】 一般家庭用分別収集日程表の印刷を行い市内全戸に配布、家庭ごみ収集運搬業務を委託し実施する。



インフルエンザワクチン接種

予防接種事業

【予算額】 7,393万円

【事業内容】 各種病原体に免疫を持たない方へ感染・発症・重症化感染症のまん延予防を目的に予防接種を実施する。

八幡平市中小企業及び小規模企業振興条例や当初予算など35議案を可決

今回は
 市長提出議案 33件
 議員提出議案 2件
 陳情 1件



3月定例会議案採決(議案第24号)

予算特別委員会での主な質疑

- Q** 田山パーキング緊急流入路・退出路整備工事負担金について、工事が開始されているが、どのような車両の通行を想定しているのか。
- A** 流入・退出できる車両については、緊急車両限定で、例えば救急車両や警察車両などネクスコ東日本と協議が調っている車両となる。
- Q** ローター除雪車の更新について、更新時期はどのような基準があるのか。
- A** 市で払い下げや更新する際に基準として考えているのが、整備に係る費用が3年平均で年間200万円を超える車両については、計画を立て、更新を実施している状況である。
- Q** 消防団運営事業について、消防団員や婦人消防協力隊を確保するのに苦慮していると聞いている。人数を確保するためにも協力隊に手当を支給することや協力隊ではなく、消防団員として男女にかかわらず、組織を作った方がいいのでは。
- A** 女性消防団員として活動している事例もある。まずは協議の場を持ち、情報共有をしながら、今後どういった組織とすることを検討していきたい。
- Q** 文化財標柱立替等業務委託料の26万円について、場所はどこになるのか。
- A** 七時雨一里塚、曲田一里塚、留の沢一里塚の3カ所である。

- Q** 完全給食に向けて、アンケートを実施することだが、実施時期は。
- A** 完全給食に関するアンケート調査の時期については、設問の内容を吟味し、検討を要するため、いつとは断言できない。
- Q** 外国語指導助手配置事業について、事業内容が毎年同じだが、例えば英語実習や海外留学の実施など、一歩進んだ英語教育の考えは。
- A** 現在、ハロウ安比較に子どもたちが1日体験入学ができないか協議を進めている。英語に触れる機会や異文化に興味関心を高める機会、英語力を高める機会を豊富に設定していきたい。
- Q** 博物館管理運営事業について、小中高別の入場者数は把握しているのか。
- A** 小中学校との連携事業は、5年度から始めているが、小中高別の人数までは把握していない。
- Q** 市内の小児科病院が閉鎖した。今後、市立病院に頼ることが多いと思うが、4月以降の医師の確保について伺う。
- A** 市立病院の小児科の体制については、常勤医師の小児科医が6年3月で退職することとなり、4月以降は小児科の常勤医師が不在となる。岩手医科大学附属病院や退職した小児科の医師で月曜日から金曜日までの5日間のうち、3日間は対応する予定である。残りの2日間については、県立中央病院やその他の医療機関からの応援で対応する予定である。

西根総合支所を大更駅前に移転

令和6年4月30日に移転開所する、西根総合支所の住所を変更するために八幡平市支所設置条例の一部を改正しようとするものです。

Q 西根総合支所の移転の状況と開所式の日程はどのようになっているのか。

A 3月29日に改修工事が完了となる。引き渡し後、電話回線や光回線の工事を経て移転する。4月30日の業務開始前、8時から8時半までに開所式を行う。

人権擁護委員を新たに1人推薦

八幡平市の地区における人権擁護委員に欠員が生じたため、新たに古川千恵子氏を推薦しようとするものです。

【議案第11号】八幡平市支所設置条例の一部を改正する条例

【議案第1号】人権擁護委員候補者の推薦に関する意見を求めることについて

借地返還に伴い消防施設を譲渡

用途廃止した扇畑消防ポンプ置場を、借地の返還に伴い土地所有者に対し無償譲渡するものです。

Q 無償譲渡仮契約書にある「現状有姿」とは、市が何も手を加えず、そのまま譲渡するということか。

A 「安代町消防団第三分団ポンプ置場」の表示を消し、ランプも撤去して譲渡する。

Q 市民センターの管理体制は、西根総合支所移転後にどうなるのか。

A 管理体制については、現状維持で考えている。

Q 移転に伴い、市民センターで保管されている、西根町史や展示パネルなどの物品はどうするのか。

A 大切な財産であるため、引っ越しの際に紛失しないように、台帳と照らし合わせ、管理していく。

【議案第14号】財産の無償譲渡に関する議決を求めることについて



八幡平市立病院
病院事業

【予算額】18億680万円

【事業内容】市民および市内事業所勤務者に安心安全な医療を提供する。



生徒への指導の様子
外国語指導助手配置事業

【予算額】1,718万円

【事業内容】外国語指導助手を4名採用し、市内14校を4ブロックに分けて配置する。



令和5年度の消防演習の様子
消防団運営事業

【予算額】8,535万円

【事業内容】消防演習などの消防団行事を実施し、消防団の活動を円滑に行う。

【議案第18号】令和5年度八幡平市一般会計補正予算（第7号）

1億2200万円増額補正予算可決

歳入、歳出それぞれ1億2200万4千円を増額し、総額199億810万円とするもので、主な歳出は次のとおりです。

- ▼訪日外国人誘客促進事業費補助金 3000万円（増額）
- ▼出産・子育て応援給付金給付費 2298万円（減額）

Q 観光振興対策事業の訪日外国人誘客促進事業費補助金3000万円の使い道は。

A 市観光協会から補助金の事業申請をいただき、市観光協会が事業を実施する。内容については、物価高騰の影響を受けている市内宿泊施設を支援するとともに、訪日外国人の誘客を図るものである。市観光協会には予算の範囲内でより多くの方に来ていただくような運用をお願いする。

Q 旅行会社に直接補助した方が訪日外国人を呼び込むには効果があると思うが。

A 市内事業者の支援が目的である。補助金を活用し、事業者が宿泊キャンペーンを実施する場合や食事内容を変更する場合などがある。誘客のため、旅行会社に働きかけることも運用方法として想定している。

Q 出産・子育て応援給付金の2298万円減額の理由は。

A 当初予算では妊娠期間の出産応援ギフトについては、85人を想定していたが、今回62人に変更した。また、出産後の子育て応援ギフトについては、96人を想定していたが、54人に変更したことにより、差額分を減額したものである。

Q 土木費の除雪事業において、報酬や燃料費など446万円が増額となっている。2月から雪が降っていないが、なぜ増額するのか。

A 補正の時期には、降雪量を想定できず、昨年の除雪事業にかかった経費分を基に補正したものである。

【陳情第4号】年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情

年金制度の是正に強く求める

全会一致で採択

無年金となる外国人の増加は、将来的に地方の財政負担につながるため、制度の趣旨に立ち返り、政府においては地方財政を圧迫しないよう、また、国民の間に不公平感を与えないよう制度の是正を求める陳情です。（陳情者＝福岡市議会議員小坪慎也）

日本国籍を有する外国人が日本を出国する際は、脱退一時金を請求できます。同時に年金受給資格を失うため、将来無年金や低年金ですが、本来年金を受給するためには最低10年間の加入が必要ですが、しかし、仮に日本に在留を続け生活が困窮した場合は、生活保護の支給対象になり、また再入国すれば脱退一時金の申請ができます。日本人においては、公的年金を脱退することはできないことなど、格差が生じ、強い不公平感を与えかねません。以上のことから制度の是正を強く要請するものです。

【議案第1号】八幡平市中小企業及び小規模企業振興条例

中小企業等振興に条例を制定し推進

全会一致で可決

この条例は、八幡平市において中小企業者および小規模企業者が地域経済に果たす役割の重要性に鑑み、その振興に関し基本理念を定め、市、中小企業者および小規模事業者、商工会、金融機関、市民の役割などを明らかにするとともに、中小企業および小規模企業の振興に関する施策を総合的に推進することにより、その持続的発展および地域経済の活性化を図り、もって市民生活の向上に寄与することを目的とするものです。

八幡平市
中小企業及び小規模企業振興
条例制定に向けて

2024年2月5日

合同会社地域計画 代表 熊谷智義

産業民生常任委員協議会で研修会を実施（令和6年2月5日）

討論（令和6年度八幡平市一般会計予算・3月19日日本会議）

【反対討論】 古川 津好 議員（松西会）

大更駅前への図書館の移転に反対である。2040年の人口は、1万5千人台と急激な減少が推計されている。図書館の利用客も減少し、市内には書店もなく市民の本への欲求も減少している。電子図書の普及は、図書館に行く人を減少させていく。人口減少は、大更駅の存続自体も危ぶませ、花輪線の廃線も懸念される。一時のにぎわいになっても、継続したにぎわいの創出は困難である。ここは最少限の投資にすべきである。あるものは、新たに造り直さずに大事に使い続け、多目的ホールのような、市にないものに投資すべきである。また、安代の屋内ゲートボール場の解体は、議会も市当局も、市民の願いを聞きいれずに解体するもので、耐用年数も残っており、この解体にも反対である。

【賛成討論】 熊澤 博 議員（自由クラブ）

少ない年金で暮らす高齢者の生活苦は深刻である。平成24年以降の政権は、公的年金の支給水準を切り下げ続けてきた。令和5年までの12年間で、年金生活者の実質可処分所得は、年に23万円も目減りしたとされている。その減額には、3つの要因があるとされている。第1は年金支給額そのものの削減、第2は社会保険料の引き上げ、第3は消費税の増税を含む、物価の急上昇である。今、本市の農の大地も窮地に立たされている。特に和牛の子取り生産と肥育は、エサ、肥料、農業用資材の高騰で苦しんでいる。牛1頭売るたびに20万円から30万円の損失が出るのが現状である。これからの市の手当を含む本予算と今後の補正予算にも注視しながら、賛成討論とする。

【反対討論】 高橋 悦郎 議員（日本共産党）

大更駅前通りづくり施設への市立図書館移設に反対をする。理由は、インターネットの普及や小中学校の生徒には、一人一台のタブレットが貸与されており、電子図書などで図書館利用の形態が変わらざるを得ない時代にある。今の図書館が狭いという声もあるが、必要に応じ増築すれば解決する。大更駅周辺開発には既に87億円が投資され、通りづくり施設を含むと110億円にもなる。病院など必要な投資もあったが、これらで財政の硬直化が進み、市民の声に応える財源確保が難しくなる。また耐用年数が残っていて、多くの利用者があつた、屋内ゲートボール場取り壊しにも反対である。出生数が計画の半数という、想定外の少子化が進んでいる。ここにこそ必要な予算と事業が必要である。

【賛成討論】 立花 安文 議員（八起会）

歳出の衛生費、出産・子育て応援給付金は、妊娠10万円、出産後に50万円を子育て世帯に支給するもので、子どもが生まれる夫婦にとって、大きな励みになる。農林水産業費の親元就農を支援する新規就農者等支援事業は、これまで既存の制度要件から外れていた方を支援するものである。土木費の（仮称）八幡平スマートインターチェンジの用地測量調査費用の計上は、安比エリアの長年の悲願だったインターチェンジの設置に向けた取り組みである。他にもさまざまな住民福祉施策が盛り込まれており、市民の負託に応えるものと評価する。

令和6年第1回定例会 賛否の分かれた議案の採決結果		議員名（会派名）																		議決結果	
議案名	議案第24号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18		
令和6年度八幡平市一般会計予算	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	原案可決

工藤隆一議長は採決に加わりません

質問した事項

- 渡辺 義光 議員 (市民クラブ).....10
 - ・加速する少子化・人口減少への対応について
 - ・市制施行20周年記念事業について
- 立花 安文 議員 (八起会).....11
 - ・市総合計画について
 - ・市道路整備計画について
 - ・学校給食への地場農産物の利用拡大について
 - ・消防団の訓練大会 (操法大会) について
- 工藤 直道 議員 (自由クラブ).....12
 - ・人口減少対策について
 - ・休廃校活用と地域活性化策について
 - ・地域農業の振興策について
- 羽沢 寿隆 議員 (八起会).....12
 - ・クマなどによる有害鳥獣被害の実態と対策について
 - ・再生可能エネルギー活用とJクレジットについて
- 外山 一則 議員 (八起会).....13
 - ・地域計画について
 - ・除雪体制について
 - ・学校給食について
- 高橋 悦郎 議員 (日本共産党).....14
 - ・大更駅前拠点施設整備事業について
 - ・観光振興対策事業について
 - ・第9期介護保険事業計画について
- 工藤 多弘 議員 (松西会).....14
 - ・(仮称) 大更駅前顔づくり施設および大更駅周辺開発について
 - ・公共交通の確保について
 - ・平館高等学校の教育振興について
- 古川 津好 議員 (松西会).....15
 - ・人口減少問題について
 - ・常備消防組合について
 - ・大更駅周辺の整備事業について
- 熊澤 博 議員 (自由クラブ).....16
 - ・自主防災組織結成の在り方について
 - ・土壌汚染対策の在り方について
- 齊藤 隆雄 議員 (日本共産党).....16
 - ・加齢性難聴者の補聴器購入助成について
 - ・給食費の無償化について
 - ・鳥獣対策について
 - ・小中学校の統合や連携計画について
 - ・田山中学校跡地の活用について
- 北口 功 議員 (無会派).....17
 - ・地域公共交通活性化再生法の改正と当市における地域公共交通計画について
 - ・単身高齢者の住まいについて
 - ・児童生徒に対する各種教育について



わたなべよしみつ 渡辺義光 議員



人口減少とコミセン活動 集落支援員配置を検討中



八幡平旅情を歌う(大更) 3月2日

問 八幡平市合併時の人口は3万1756人、令和5年8月31日現在では2万3602人と、18年間で8154人の減、また、高齢化率は42%である。12コミセンへの支援や人口減対策・コミュニティ再生などの学習活動を強化すべきでは。

市長 八幡平市まち・ひと・しごと創生総合戦略により人口減少対策を総合的に推進してきたが歯止めがかからない。人口減少で自治会や集落の維持が困難となるのが想定される。地域おこし協力隊員や集落支援員の設置を検討中である。

学校統合の加速化

問 令和6年度の小学校入学対象者は132人。令和5年1月から12月までの出生者は57人で過去最少である。小・中学校の統合を急ぐべきである。給食費無償化など子育て支援の考えは。

教育長 八幡平市学校統合検討委員会で中学校の統合を協議中である。給食費無償化については少子化の進捗と国の動向を注視したい。

NHKのご自慢を

問 人口減少は続くが市民の心は明るくにぎやかな古

里を目指したい。市制施行20周年を記念して、のど自慢を招致し全国発信しては。

市長 NHK盛岡放送局長あてに全国放送公開番組の開催を依頼中である。記念事業を効果的に進めるために市公式HPやSNSなどを活用し広く周知していく。



たちばなやすふみ 立花安文 議員 (八起会)



市道星沢前森山線の整備 拡幅と歩道の整備を検討



市道星沢前森山線

問 スマートインターチェンジが市道星沢前森山線に接続されることから開通後は交通量の増加が見込まれる。歩道などの整備計画は。市長 令和6年度に修正を行う市道路整備計画で拡幅改良および歩道設置の必要性などを検討する。

問 市道路整備計画に載せると工事着工も早い時期に実施できるのか。

建設課長 財源として辺地債が対象になる地区である。他事業と調整し検討する。

消防団の訓練操法大会の見直し状況

問 消防団員のなり手不足が深刻化する中、消防操法大会の実施内容を見直す動きが全国的に広がっている。当市の見直しの状況は。

市長 令和5年度から簡略化して実施している。

問 市消防団長の出身である第十一分団の令和4年度

項目別、出勤回数および延べ人数は。

市長 出勤は、火災3回、大雨時の警戒1回、火防点検など23回、行方不明者捜索2回、予防活動54回、訓練22回であり、合計で105回である。出勤延べ人数は994人となっている。

介護ヘルパーの人材不足が深刻

問 介護人材の安定した確保対策事業を第三次市総合計画に載せてはどうか。

市長 国や県などの対策の情報を得ながら、今後具体的な検討を行い判断する。

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。



くどうなおみち 工藤直道 議員



(自由クラブ)

人口規模を見据えた運営 事業の検証と選択を徹底



人口減が深刻化する八幡平市

問 少子高齢化など、人口規模を見据えた財政運営が重要と考えるが。

市長 社会保障費の増加など厳しい状況と認識している。市民サービスに支障を来さぬよう留意し、持続可能な行財政運営に努める。

移人口は1万1349人と予測され、人口減少に伴う公共サービスの維持が懸念されている。総合戦略を再構築しては。

市長 しっかり分析しながら、7年度からの総合戦略の策定に向け取り組む。

問 2050年の当市の推移

市長 市独自の削減策、出産・子育てなど若い女性から暮らしやすさを求める提言があったが。

市長 若い女性への厚い支援策など、提言を踏まえ計画に反映させていきたい。

問 統合後の校舎活用

西根中学校・西根第一

中学校・松尾中学校を統合し、新設中学校の建設計画が示された。3校の廃校による地域の衰退が懸念されるが。

問 担い手の高齢化と減少対策として、農作業請負事業体の育成が必要と考えるが見解を伺う。

市長 当市の現状を考えた場合、ますます重要になっていくと認識している。



はざわひさたか 羽沢寿隆 議員



クマによる被害と対策は

対策と支援を拡充する



身近に出没するようになったクマ

問 昨年、クマによる被害が続出した。被害内容は。

市長 目撃情報389件、人身被害9件（11人中1人死亡）、交通事故8件、農業被害は72件で被害額1200万円、面積16haである。

市長 市の農林課だが、危険だと感じた場合は迷わず110番通報すべきである。

問 理不尽なクレームには、秋田県知事のように毅然とした態度をとるべきでは。

市長 あまりにもひどいクレームには、県とも相談し対応する。

問 全体的なクマ対策は。

市長 スマホによるリアルタイムのクマ情報発信、電気柵設置補助および狩猟免許取得補助、狩猟関係団体などへの支援を拡充した。

問 Jクレジット活用

Jクレジットとは、二

酸化炭素排出を削減した団体がその分を売り出し、大都市や企業が買い受けるシステムである。再エネや豊富な森林資源を有する本市にとっては千載一遇のチャンスであると思うが計画は。

市長 将来的な可能性は大きいと考える。現状では多額の費用と時間がかかることから、専門家の指導を受けている段階である。

問 森林や再エネ活用がこれから非常に大事である。どんなPRすべきでは。

市長 いろいろな課題が山積している。それでもなんとか実現していきたい。



そとやまかずのり 外山一則 議員



除雪業者に最低保証制度

委託先と協議・検討する



冬季交通確保のため懸命に除雪中

問 降雪量の多い当市も近年、降雪量の差が大きく、除雪体制維持の経費負担が大きくなっている。降雪量にかかわらず除雪体制を確保・維持できるような最低保証などの対策が必要では。

市長 現在の契約方式は、最低保証を規定していない

め、今後は、契約方式を含め、委託先と協議・検討していく。

問 今後オペレーター不足が懸念される。地区で除雪ができる農家などがある場合、作業委託はできないか。

建設課長 近隣市町で、地区に委託している例はある。

10年後の農業

路線の状況、委託内容などを踏まえ、検討する。

問 農地の地域計画を策定する中で、地域の高齢化や農業者の減少が顕著になってきている。市の見解は。

市長 後継者確保の施策と

して、市独自の新規就農者支援も行っている。令和6年度からは、新たに親元就農支援も行う。

完全給食への声

問 共働きや非農家の子育て世代が増え、完全給食を希望する声があるが。

教育長 完全給食に対する保護者の意向調査を行い、提供方式、費用負担の在り方を検討する。

問 直近の地場産物の利用割合は。

教育長 金額ベースは、西根地区が32・77%、安代地区が29・94%である。

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。



たかはしえつろう
高橋悦郎 議員



(日本共産党)

顔づくり物価高騰の影響 概算工事費の変更はない



完成した市道大更駅前線

問 大更駅前顔づくり施設建設費は、約20億円となっている。昨今の物価高騰で契約金は引き上がらないか。
市長 工事費の変更は予定していない。資材や人件費の変動は、注視し、工事の入札・契約を進めていく。
問 大更駅前線沿道商業用

地の10区画のうち、市道大更駅前線に接しない4区画も、商業用地区画として利用者募っていくのか。別の用途にする考えはないか。
市長 分譲販売を予定している。用途の変更はない。
(株)八幡平DMO

問 7年前に立ち上げた八幡平DMOは、この7年で市から約4億4千万円の事業委託がされている。その費用対効果は。
商工観光課長 海外向けのプロモーションやホームページの運用、国や市の補助事業などの活用で稼ぐ観

光産業に取り組んできた。
問 市は、毎年2名分の人件費として1700万円を補助してきた。また、各種委託事業を見ると調査・分析業務が多く、事業費にも人件費が入っている。人件費の二重払いでないか。
商工観光課長 社員は2名

だけでない。国や市からの委託事業の販管費などで他の職員人件費としている。
問 5年間だけ支援し、その後は自立していく予定ではなかったのか。
市長 コロナ禍で自立の取り組みが遅れた。新年度は人件費の計上はしていない。



くどうたひろ
工藤多弘 議員



約20億で建設できるのか

契約変更は当然あり得る



(仮称)大更駅前顔づくり施設

問 資材が高騰する中、大更駅前顔づくり施設は約20億円で建設できるのか。
市長 現時点での物価、資材などいろいろなことを加味して設計が完了している。来年度以降、人件費や資材費の高騰など、さまざまなことが加味されてくれば、

契約の変更は当然あり得る。
問 現図書館に隣接するポエトリガーデンには、八幡平市名誉市民である江間章子さんの詩碑がある。市民の意見として「現図書館を有効活用した方がいい」とあるが見解は。
市長 大更駅前に図書館の

機能が必要であると商工会や市民団体など多くの人が聞いた上で、図書館の必要性を感じて設計してきた。
問 新図書館をにぎわい創出にどう結び付けるのか。
市長 複合施設であるため相乗効果を求め、現状の5万冊から9万冊に蔵書を増

やし、利用率を高めていく。
公共交通の充実
問 公共交通整備事業計画策定の内容について伺う。
まちづくり推進課長 既存の交通事業者を最大限活用し、デマンド交通の計画を進めている。

教育振興について
問 新たに平館高等学校振興係を設置し、生徒の確保につなげていく考えは。
市長 現状では、具体的な議論をしていないが、中長期的な視点も見ながら議論していく必要がある。



ふるかわつよし
古川津好 議員



汚染土地購入前の検討

事業区域から外せない

問 昨年12月議会での、土壌汚染された土地購入への

答弁では、汚染の可能性を知っていたようだが、瑕疵担保責任などについて庁内で検討の上で購入したのか。また、保健所との協議はどうなっているのか。
市長 土壌汚染調査が猶予

されていることは、県から説明を受け認識していた。しかし、事業区域の全員の同意が必要であったため、その場所だけを外せなかった。現在の汚染物質濃度は、臭気を感じる濃度の約54分の1の濃度であり、人体に及ぼす影響は極めて少ない

数値であるが、汚染物質濃度が基準値を下回るまで、浄化措置の継続を保健所から求められている。

が滝沢市の半分この小さな市に3消防施設は必要か。
防災安全課長 1カ所廃止すると1億円以上の削減効果があるが、現在の出勤状況ではその判断ができない。

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。



くまざわ ひろし 議員 (自由クラブ)



全市域に自主防災組織を 防災リーダーの育成支援

問 全地域振興協議会での自主防災組織の結成のために何が必要と考えるか。
市長 防災リーダーの育成と各地域での防災に対する関心の高まりが必要である。畑、五日市、浅沢の3地域を自主防災組織の新規立ち上げの重点地域として支援

していきたい。
問 市から提供される避難行動要支援者名簿は準備しているのか。
市長 災害時に自力での避難が難しい高齢者などの要支援者については、災害発生時に備えて、関係者に情報提供できるように名簿を

作成している。
問 京都大学の矢守克也教授によれば、「津波でんでんこ」は、相互信頼の事前醸成、生存者の自責感の軽減という意味や機能も織り込んだ用語であると述べている。本市でも活用する必要があるのでは。

防災安全課長 小中学校や地域のサロンなどでの防災学習の機会を捉え「でんでんこ」の部分も含めて防災の意義付けに努めたい。
土壌汚染対策の地域住民説明会
問 大更駅前元クリーニ



寺田地域自主防災会

ング工場跡地の土壌汚染対策について、住民説明会を開催するべきではないか。
市長 令和2年からの浄化処理で、汚染物質濃度は基準値の680倍から55倍へと低下している。処理方法を県央保健所と協議中であり、決定後に検討したい。



さいとう たかお 議員 (日本共産党)



深刻な鳥獣害に対策急務 3つの対策で被害軽減を



1月29日、田山地区でイノシシ目撃

問 昨市内でクマによる人身被害が9件起きており、11名の方が被害に遭っている。人的・農産物被害などの対策が急務と考える。今後の具体的な対策を伺う。
市長 捕獲・駆除対策、侵入防止・環境管理対策、人材育成の3つに重点を置き、

被害の軽減に努めていく。人材育成では、狩猟免許新規習得費補助率を2分の1から4分の3へ引き上げる。また、市民協働による駆除活動、捕獲体制の構築を支援、地域住民と鳥獣被害対策実施隊で構成する団体に支援金を予定している。

補聴器の購入補助
問 加齢性難聴は、日常的な会話を困難にし、生活の質を落とす大きな要因である。補聴器は高額で保険適用などがない。当市独自の購入補助が必要では。
市長 県内の自治体では、

高齢者の社会参加、地域交流、日常生活の質の向上などを目的に購入補助を実施していることは承知している。市としては、加齢性難聴への対策は全国共通の課題であると捉えている。購入の補助制度は、国において統一した制度を創設する

ことが望ましいと考える。
小中一貫教育
問 安代中学校を中心にした小中一貫教育の取り組みについての状況を伺う。
教育長 2回の検討委員会を実施し、3校の連携を一層図っていききたい。



きたぐち たかひろ 議員 (無党派)



市の地域公共交通計画は 新たな視点加え計画策定

問 八幡平市地域公共交通計画(案)の作成に至るまでの経緯は。
市長 平成19年制定の地域公共交通の活性化及び再生に関する法律、令和2年度令和5年度の法改正を踏まえて作成した。自治体・公共交通事業者などの連携と

協働の視点や国庫補助要件となる路線バスの位置付けにも配慮した内容にしている。
児童生徒に対する各種教育の充実を
問 がんは、日本人の2人に1人が発症し、死因の1

位である。正しい知識を身に付けるには、がん教育の充実が大切ではないか。
教育長 小学校では体育の時間に喫煙の害として、がんがあること、中学校では保健体育の時間に、がんの原因と予防教育を行い、がんについて正しい知識や認

識を持った児童生徒の育成に取り組んでいる。
問 スマートフォンの普及やIT化が進み、便利ではあるが危険な面も増えている。子どもたちに対する、専門家によるお金の教育が重要ではないか。
教育長 学習指導要領でも



市役所前に着いたコミュニティバス

小学校家庭科や中学校社会科・技術家庭科の時間に、金融経済教育や消費者教育が行われている。成人年齢が20歳から18歳に引き下げられたことが背景にある。専門家の招聘も視野に入れ、金融経済教育・消費者教育の充実に努める。

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。

議会広聴広報常任委員会

任期満了に伴う退任のあいさつ

議会広聴広報常任委員会では、議会活動の一端を市民の皆さまに伝え、市政に関心を持っていただくために「ギカイのひろば」を発行してまいりました。委員会では「伝える広報」から「伝わる広報」を目指し、議論を重ね、新たな取り組みとして編集後記や議員と語る会などの改革を進めてまいりました。2年間の任期が満了することに伴い、ご協力いただいた皆さまに心から感謝し、お礼を申し上げ、退任のあいさつとさせていただきます。
議会広聴広報常任委員会 委員長 工藤 多弘



2年間活動してきた議会広聴広報常任委員

総務教育常任委員会協議会

■期日 令和6年2月19日
■場所 市役所3階大会議室

平館高校「ハチタン」報告会



八幡平市探究（ハチタン）報告会の様子

平館高校の3年生による「八幡平市の総合的な探究の時間」、略して「ハチタン」の3年間の成果を発表する報告会が開催された。八幡平市の文化や伝統、現在進行形で課題になっている地域の問題をさまざまな角度から探究した内容となっていた。議員自身も勉強や参考になったと同時に、今後は、より一層、若い世代の意見に耳を傾けていくため、平館高校の生徒と議論を行う機会を検討していきたい。

次は6月定例会（予定）

※日程は変更になる場合があります。

期日	内容
6月13日(木)	議案上程 ほか
6月14日(金)	一般質問
6月15日(土)・16日(日)	休会
6月17日(月)	一般質問
6月18日(火)	一般質問
6月19日(水)	議案審議
6月20日(木)	休会
6月21日(金)	委員長報告 ほか

議会を傍聴しませんか

八幡平市議会では、本会議などを誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は、議会開催日に市役所3階の議会事務局までお越しください。
開催時刻は一部を除き午前10時から（終了時間は日によって異なります）です。詳しくは、八幡平市議会のホームページをご確認ください。

議会の映像を見ることができます

八幡平市議会では、議会開催日に市役所本庁舎1階のテレビでライブ中継を行っているほか、インターネット（YouTubeの八幡平市議会のチャンネル）で録画配信しています。
令和6年3月定例会の視聴回数は1,224回です。
令和5年12月定例会の視聴回数は1,047回でした。
（令和6年4月22日時点）

八幡平市議会活動レポート

■期日 令和6年1月23日・24日・25日
■場所 徳島県三好市、上勝町、佐那河内村
■内容 廃校活用事業について、ゼロ・ウェイストの取り組みについて、ドローンを活用した新スマート物流実装業務について

会派合同研修で徳島県上勝町訪問

上勝町では、環境教育・人材育成を重点目標とするゼロ・ウェイスト宣言の事業について研修した。2003年国内初の宣言を機に町民1人ひとりがごみの削減に努め、リサイクル率80%以上を達成した。小さなまちの大きな挑戦は世界から注目され、持続可能な社会への道筋を示している。ごみの再利用・再資源化を進め、焼却・埋め立て処分をなくす最善の努力をしている最前線であった。地球環境を考えた挑戦への参考にしていきたい。

会派視察研修

（自由クラブ・日本共産党・松西会）



上勝町のごみステーション前での集合写真

クイズ

問 ○の中には、どんな文字（数字）が入るでしょう？

2月19日に平館高校の3年生による「八幡平市の総合的な探究の時間」、略して「〇〇〇〇」の報告会が開催された。

- 応募方法 答え、住所、氏名（ふりがな）、年齢、「ギカイのひろば」を読んだ感想、市政や市議会への意見・要望などを必ず記入の上、はがきやファクス、電子メールでご応募ください。正解者の中から抽選で5名の方に八幡平市共通商品券1,000円分をお贈りします（当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます）。※お寄せいただいた個人情報は景品の発送以外には使いません。
- あて先 〒028-7397 八幡平市議会事務局 議会だより 係 FAX：0195-74-2105 E-mail：gikai@city.hachimantai.lg.jp
- 締め切り 令和6年6月14日(金)(当日消印有効)
- 前回(No.74)の正解 4(回) 応募者 11人 正解者 11人

会派視察研修

（八起会・市民クラブ）



今帰仁村での視察風景

■期日 令和6年1月25日・26日・27日・28日
■場所 沖縄県今帰仁村、本部町
■内容 小学校のキャリア教育への取り組みについて、IoTを活用した水道検針の自動化について

沖縄県今帰仁村と本部町を視察

今帰仁村学校教育「教室にホンモノを届けます。今帰仁村をどう教えるか」の取り組みを視察した。地域社会がもつ教育資源を探求し、地域学習教材として活用していた。本部町では「IoTを活用した水道検針の自動化」について視察した。スマートメーターを導入し、水道検針者の高齢化対策、遠隔地の検針作業の効率化を図っていく取り組みである。当市でも限界集落対策として検針が困難な地域、検針員不足対策として、導入を検討すべきと感じた。



〒028-7397 岩手県八幡平市野駈第21地割170番地



E-mail: gikai@city.nachinantai.lg.jp



☎0195-74-2111(代表)・0195-74-2429(直通) FAX: 0195-74-2105

発行 八幡平市議会

編集

八幡平市議会広聴広報委員会

議会のまど

「議員と語る会」に参加して思うこと



さいとう とくしげ
齋藤 徳重 さん
(西根寺田 75歳)

少子高齢化が進む中、巨額な建設費を投じる大更駅前整備計画に図書館建設も含まれています。さらに土壌汚染で数千万円もの金額を投じており、議会で議論が必要だと思えます。基幹産業である農業の現状も高齢化と担い手不足で山間地の農地は荒廃地、休耕地が増えています。マスタープラン作成に苦慮している行政への指導を議会には強く望みます。最後に高齢者は、買い物や通院にコミバスを利用していますが、使い勝手が悪い地域の住民と相談して検討することも課題だと思えます。市民のための議会運営を期待します。

今の八幡平市立図書館が大好きです。今ある建物を最大限、活用してほしいです。(中関・37歳男性)

八幡平子どもクリニックが閉鎖し、市立病院の先生も辞めると聞きました。小児科がなくなって困ります。(東・38歳女性)

クマが出没した時は、情報を防災無線で放送してほしいです。(渋川・64歳女性)

表紙のあしることも園の子どもたちが、楽しんで良かったです。(湯沢・81歳女性)



クイズで寄せられた意見などを紹介します。

今は、まだゆっくり見えていませんが、クイズはいつも親とこれでもいいか確認しています。(向村・44歳男性)

新しい図書館を建てるよ、り、学童保育を新しくした方がよいと思えます。(渋川・36歳男性)

コミバスは、細かい移動手段として使うものではないので、コミバス以外の移動手段を検討してほしいです。(山子沢・38歳女性)

防災無線で市議会の開催案内を放送できるなら、クマの出没情報も放送してほしいです。(中関・67歳男性)

◆ 編集後記 ◆

核家族化による世帯規模の縮小や働き方、生活様式の多様化で地域コミュニティの希薄化が進んでいます。公的扶助の福祉よりも自助努力が喧伝され、格差社会や少子化の伸展があります。「ギカイのひろば」の読者の声、市民の意見として実現される市政運営でありたいものです。議会広聴広報常任委員会の使命は重大であると常に肝に銘じております。

委員 熊澤 博

保育所紹介



田山保育所
保護者会会長
工藤 哲 さん

田山保育所は、人数が少ないので異なる年齢でも子ども同士の関わりがとて多いです。上の子どもたちは下の子の面倒を見てあげたり、上の子を目標に頑張ったりしながら、みんな兄弟のように仲良く過ごしています。また、田山の大自然を遊び相手に体もたくましく育っています。保護者や先生同士も和気あいあいとしたアットホームな雰囲気保育所です。

※はちまんたい議会だより「ギカイのひろば」No.75(令和6年5月9日発行)の印刷経費は1部71.8円(税抜)、発行部数は9,750部です。